



豊かな人と動物の関係を求めて

動物を知り・動物をいかし・安全な食と環境を守る

東京大学農学生命科学研究科附属牧場（高等動物教育研究センター）



主催：現代GP／食の安全研究センター／アグリコクーン食の安全・安心FG（ACT 13）

International Symposium

参加無料・事前申込不要

日本に畜産物を輸出する諸国の畜産物の安全に関わる 獣医学・畜産学領域の研究の現状

日時 ■ 平成 18 年 12 月 22 日（金） 10:00 - 17:30

会場 ■ 東京大学農学部 弥生講堂 一条ホール（東京メトロ南北線「東大前」駅より徒歩 2 分）

PROGRAM

講演言語：英語（通訳は付きません）

- 10:00 - 10:10 開会の辞
局 博一（東京大学大学院農学生命科学研究科）
- 10:10 - 11:10 タイにおける食の安全に関わる教育研究と獣医師の役割
Worawut RERKAMNUAYCHOKE 教授（カセサート大学／タイ）
- 11:10 - 12:10 内分泌攪乱物質の影響：高感度検出評価法の基礎
Eui-Bae JEUNG 教授（忠北国立大学／韓国）
- 12:10 - 13:30 Lunch
- 13:30 - 14:30 韓国における飼料と畜産物の安全に関わる教育研究
Jong Kyu HA 教授（漢城国立大学／韓国）
- 14:30 - 15:00 Coffee Break
- 15:00 - 16:00 中国における家畜遺伝子工学の現況
Shi-En ZHU 教授（中国農業大学／中国）
- 16:00 - 17:10 中国における畜産物の安全・安心に関わる教育研究
Chang-Xin WU 教授（中国農業大学／中国）
- 17:10 - 17:20 結語
熊谷 進（東京大学大学院農学生命科学研究科）
- 17:20 - 17:30 閉会の辞
眞鍋 昇（東京大学大学院農学生命科学研究科）



お問い合わせ

〒319-0206 茨城県笠間市安居 3145
東京大学農学生命科学研究科附属牧場
（高等動物教育研究センター）教授 眞鍋 昇
☎ 0299-45-8952 ✉ amanabe@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp



平成 18 年度 大学改革推進事業
現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代 GP）

畜産物の安全・安心を保障する人材の育成教育
<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/bokujo/ggp/index.html>